

Woodlands(ウッドランズ)

ワイナリー紹介

[オーナー：デイヴィッド&ヘザー・ワトソン]

[ワインメーカー：スチュワート・ワトソン、デイヴィッド・ワトソン]

デイヴィッド&ヘザー・ワトソン夫妻がボルドーの偉大なヴィンヤードを目指し1973年に設立。西オーストラリア州マーガレットリヴァーにおける最初の5か所の葡萄園の1つです。“アンドリュウ”カベルネ・ソーヴィニヨン1981年をリリースすると国内多くのワインコンペティションで「ベストレッドワイン」のトロフィーを始めとした多くの賞を受賞し、「デイヴィッド・ワトソン」が造るカベルネは多くの評論家達からも称賛を得ました。1992年、ワトソン夫妻は子供の教育の為、パースに移り住み事実上ワインの生産を中断し、その間造られていたブドウはその地区の知名度の高い生産者に販売していました。1999年ワイン造りを再開、十分に成長した葡萄畑の維持は繊細に行なわれ、特に除草、剪定等は人の手により行なわれ葡萄は手摘みされます。2002年からは息子であるスチュワートがデイヴィッドのポリシーを守りワインメーカーとなっています。

2018 Woodlands Wilyabrup Valley Cabernet Sauvignon Merlot

(ウッドランズ ウィルヤブラップヴァレー カベルネソーヴィニヨン/メルロー)

産地 : 西オーストラリア州
マーガレットリヴァー、ウィルヤブラップヴァレー
味わいタイプ : フルボディ
ブドウ品種 : カベルネ・ソーヴィニヨン 54%、メルロー 31%、
マルベック 8%、カベルネ・フラン 6%、プチヴェルド1%
樽熟成 : 14ヶ月(フレンチオーク / 5%新樽)
アルコール度数: 13.5%
参考小売価格 : ￥4,500 (税別)

ワインの特徴

西オーストラリア州マーガレットリヴァー地区の自社畑産ブドウを使用。2018年の成長期は非常に理想的で、この地区のグレートヴィンテージの1つとして歴史に残る年となりました。生育期の初めに十分な降雨があり、ほぼ完璧な状態で開花した後、素晴らしい天候は12月中旬から収穫の終わりまで続きました。ブドウは3月13日から4月9日にかけて収穫され、除梗、粒毎に選別された後7～21日間、発酵とスキンコンタクトを行ってタンニンと風味を抽出しています。

味わいの特徴

深紅の色調。ダークチェリー、ブラックベリー、プラムのアロマやスミレ、セージ、フレンチオークを感じる豊かな香り。完熟した果実の風味としなやかなタンニンが調和した滑らかな味わいで、フィニッシュに生き生きとした酸味を感じます。パワフルで凝縮されたこのワインは今飲んででも楽しめますが、2033年までは素晴らしいものになるでしょう。

